

一般社団法人  
日本知的障がい者卓球連盟



# ご協賛のお願い

## 2024

一般社団法人日本知的障がい者卓球連盟

皆様におかれましては、日頃より障がい者スポーツや卓球競技、また当連盟の運営に多大なるご理解とご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

当連盟は卓球というスポーツを通じて、障がい者にとって活躍の場の提供や、社会活動として新たなコミュニティ形成をする一助ができればという思いから活動を行っております。

近年卓球はオリンピックや世界選手権での活躍もあり、非常に大きな盛り上がりを見せております。

また、健康スポーツとしても注目を集めており、幼い子供からお年寄りまで幅広い年代の方々がお楽しみいただける競技であります。

当連盟からもこれまでパラリンピックや世界大会への選手派遣を行っており、障がい者卓球の普及、発展とともに競技力の向上に努めてまいりました。

これからも、障がい者の方々が卓球を通じて輝き、活躍できる環境を整える活動を微力ながら精いっぱい行っていく所存でございます。

しかしながら、現時点では競技を取り巻く環境や当連盟の運営に関わる状況は厳しいといわざるを得ません。

ご関係の皆様におかれましては今後より一層のご支援、お力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



日本知的障がい者卓球連盟  
会長 武居 和子

東京2020パラリンピックを契機に障がい者スポーツ全体への関心は非常に高まりを見せました。

しかしながら、知的障がい者卓球を取り巻く環境はいまだ十分とは言えません。

当連盟はロンドン2012パラ代表1名、リオ2016パラ代表2名、東京2020パラ代表5名と回を重ねるごとに代表選手を増すことができました。

とりわけ、東京2020パラでは伊藤楨紀選手が連盟初のメダル（銅）を獲得し、多くの人に感動を与えてくださいました。現在、パリ2024パラに向けて強化が進んでおりますが、目指すところの金メダルは、国民の多くの方々、特に全国の知的障がい者109、4万人とご家族の方々や施設で暮らす障がい者の方達に、感動と勇気を与えてくれるものと期待しております。

今後、安定的な競技環境を維持し、また、向上させるには助成金のみならず、幅広いご支援を仰ぐことが急務となっております。連盟は、パラ卓球の魅力を全国に発信することにより、知的障がい者の輪を広げ、更には共生社会の実現につなげるべく、みなさまのお力添えを賜りますよう、よろしく願い申し上げます。



## 【連盟の目的】

- ① 卓球を通じた知的障がい者の活躍の場の提供および整備
- ② 世界で活躍できる知的障がい者卓球選手の育成
- ③ 連盟活動の告知や認知などの広報活動

## 【主な事業内容】

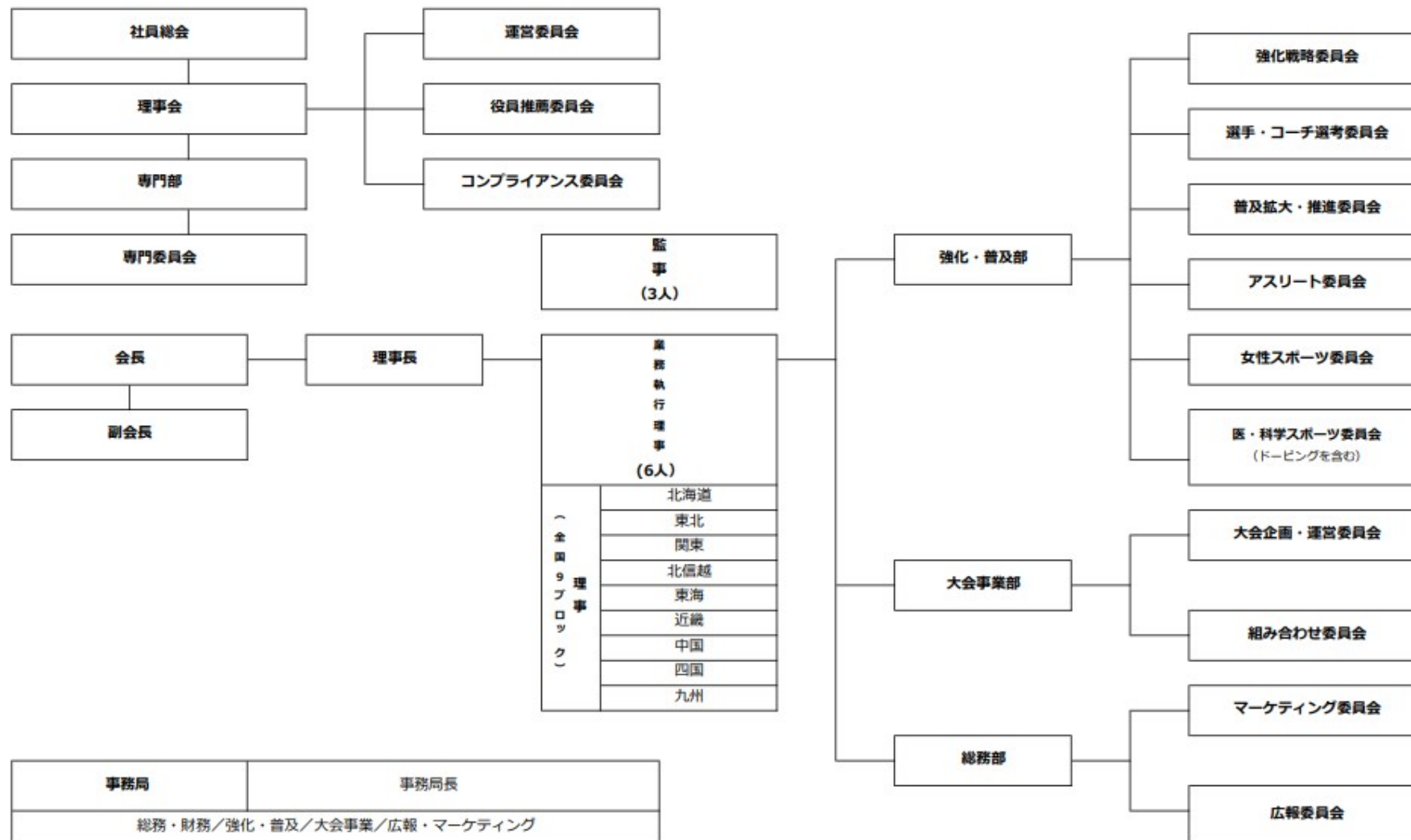
- ・IPC（国際パラリンピック委員会）、VIRTUS（国際知的障害者スポーツ連盟）等の主催する大会等へ日本選手団を派遣
- ・本連盟の主催又は主管する競技大会の運営
- ・本連盟は（公財）日本スポーツ協会、（公財）日本障がい者スポーツ協会、（公財）日本卓球協会、都道府県障害者スポーツ協会、都道府県卓球協会、都道府県障害者関係団体と協力し、普及・振興及び指導者の育成
- ・国際大会で活躍できる強化指定選手の発掘並びに強化・育成・サポート
- ・本会の発展に功績のあった個人及び団体の表彰
- ・その他、本会の目的を達成するために必要な事項

## 【沿革】

1998	5	FIDジャパン・チャンピオンシップ卓球大会初開催（現在、パラIDジャパン・チャンピオンシップ大会）
	7	第1回INAS-FMHアジア・南太平洋卓球選手権大会派遣・参加
	10	IPC世界卓球選手権大会（フランス・パリ）派遣・参加(80p)
1999	3	日本知的障害者卓球連盟設立
	4	日本卓球協会加盟
	10	INAS世界選手権大会（クロアチア）選手派遣
2000	10	シドニーパラリンピック選手3名派
2001	7	INAS-FIDアジア・南太平洋地域卓球選手権大会開催
2002	3	FIDジャパン・チャンピオンリーグ卓球大会初開催（現在、パラID全日本卓球選手権大会）
2003	10	2003INAS-FID世界選手権大会（メキシコ）選手8名派遣
2004	9	アテネパラリンピック（公開競技）選手2名派遣
2007	10	2007INAS-FID世界卓球選手権大会（千葉）選手14名派遣
2009	9	東京2009アジアユースパラゲームズ選手2名派遣
2011	11	FIDジャパン・ユースオープン卓球大会初開催（現在、パラIDジャパン・年代別オープン卓球大会）
2012	8	ロンドンパラリンピック選手1名派遣
	11	マイクデンブシー記念卓球大会（アメリカ）選手9名派遣
2013		海外オープン大会に選手派遣
2014	9	ITTFパラ世界選手権大会（北京）女子団体優勝・文科省スポーツ功労者顕彰
	10	アジアパラリンピック競技会（仁川）男子個人優勝・文科省スポーツ功労者顕彰
2015	9	INAS-FIDグローバル大会（エクアトル）選手4名派遣団体2位・スポーツ庁スポーツ功労者顕彰
2016	3・9	一般社団法人日本知的障がい者卓球連盟に改名 リオデジャネイロパラリンピック選手2名派遣
2017		海外オープン大会に選手派遣（スロベニア・スロバキア・スペイン・ドイツ・北京・韓国・タイ等）
2018		アジアパラ競技大会（ジャカルタ）選手5名派遣、他 国際大会3大会 選手10名派遣
2019	10	INASグローバルゲームズ・ズプリベン大会 選手6名派遣
		アジア選手権大会（台湾）選手6名派遣、他 国際大会5大会（タイ、チェコ、オランダなど）28名派遣
2021	5	東京2020パラリンピック最終予選大会（スロベニア）選手2名派遣
	8	東京2020パラリンピック選手5名派遣 女子シングルス銅メダル獲得
2022		海外オープン大会に選手派遣
	11	ITTFパラ世界選手権大会（スペイン）選手6名、VIRTUSオセアニア・アジアゲームズ（オーストラリア）選手8名派遣

※2023年6月現在

2022年度～2023年度 一般社団法人日本知的障がい者卓球連盟 組織図



# ビジョン・方針／ロードマップ

1. 国内登録者は、現在約250名、国内大会の参加者数は約180名。現在男子のアジアチャンピオンや国際オープン大会での優勝者や入賞者を多く輩出している。
2. ロンドンパラには男子1名、リオパラには男女計2名、東京パラには男女計5名の派遣を実現し、年々実力が向上している。
3. 東京2020パラリンピックでは、連盟初のメダル獲得。（伊藤慎紀選手 銅メダル）
4. 2023年以降も継続した強化活動の継続や国際大会の派遣を行う。加えて普及活動や広報活動を継続的に行い、国内大会参加者数200名、登録選手数300名を目標に持続的な活動を行っていく。
5. 2024年のパリパラリンピックでは金メダルの獲得を目標とする。
6. 2028年のロサンゼルスパラリンピックでは金メダル獲得を達成する。

- ◆ 年間3大会の国内全国大会の開催
- ◆ 年間約8回のナショナルチームや強化指定選手の合宿実施
- ◆ 年間8～10大会の国際大会へ選手を派遣

銅メダル  
獲得

金メダル  
挑戦

金メダル  
獲得

継続的な支援と活動

日本でも障がい者スポーツの普及と発展の  
基盤が確立され、持続的に活動が展開

- ・国内大会の開催
- ・国際大会への参加
- ・先端機材の投入
- ・既存選手強化
- ・次世代選手の発掘

- ・国内外大会参加の維持
- ・次世代選手の成長と循環

代表選手  
男女計2名を派遣

代表選手  
男女計5名を派遣  
銅メダル 1 獲得

強化指定選手の選出



金メダル挑戦

2016年  
リオ  
パラリンピック

2021年  
東京2020  
パラリンピック

2023年6月  
パラID  
ジャパン・チャンピオン  
シップ

2023年12月  
パラID  
全日本卓球  
選手権大会

2024年  
パリ  
パラリンピック

2028年  
ロサンゼルス  
パラリンピック

# 強化指定選手（2024年度）

当連盟主催の3大会「パラIDジャパン・チャンピオンシップ卓球大会」「パラIDジャパン・年代別オープン卓球大会」

「パラID全日本卓球選手権大会」で好成績を収めることにより、強化指定選手に選出

## ナショナルチーム選手



竹守 彪 ◎ 加藤 耕也 ◎ 原 一 ◎ 山本 駿太 ◎



和田 なつき ◎ 古川 佳奈美 ◎ 植山 七葉子 ◎ 山口 美也 ◎

## ナショナルチーム候補選手



浅野 俊 ◎ 久保 貴裕 ◎ 島根 大貴 ◎



馬渡 伊次 ◎

## 育成選手



吉田 友也 ◎ 前田 京之丞 ◎ 藤原 立 ◎



岩浅 琴音 ◎ 太田 歩美 ◎ 川崎 歩実 ◎ 山本 美貴子 ◎

## 次世代育成選手



森 優斗 ◎ 中原 幸輝 ◎ 川本 健太 ◎ 村上 竜空 ◎



清水 楓夏 ◎

# 2023年度活動実績（国内外試合）

大会名	開催国	大会期間	男子派遣選手	女子派遣選手	主な結果
スロベニア パラオープン	スロベニア	5月9日～13日	竹守・浅野 加藤・原	古川・伊藤 美遠	男子S銀：竹守 女子S銀：古川、銅：美遠 男子W銀：浅野・原、銅：竹守・加藤 女子W金：古川・伊藤 混合W金：浅野・古川、銅：竹守・美遠
バートスグローバルゲームズ	フランス	6月5日～9日	竹守・加藤 山本	古川・伊藤	男子T銀、女子T銀 女子S銅：古川 男子W銅：竹守・加藤 女子W銀：古川・伊藤
パラIDジャパン・チャンピオン シップ卓球大会2022	日本（横浜）	6月16日～17日	122名参加	38名参加	男子S優勝：竹守 男子W優勝：竹守・島根 女子S優勝：和田 女子W優勝：伊藤・川崎
チェコ パラオープン	チェコ	6月22日～24日	吉田	樫山・和田 川崎・太田	男子S銅：吉田 女子S金：和田、銅：樫山 女子W銀：川崎・太田、銅：樫山・和田 混合W金：吉田・和田
台北 パラオープン	台湾	7月16日～19日	原・久保 川本	和田・太田 山本	男子S銅：原 女子S金：和田 男子W金：原・久保 女子W金：太田・山本 混合W銀：久保・和田、銅：原・太田
台中 パラオープン	台湾	7月21日～24日	加藤・原 山本	古川・伊藤 和田・川崎	女子S金：和田、銀：古川、銅：伊藤 男子W銅：加藤・山本 女子W金：伊藤・川崎 混合W金：山本・和田、銅：加藤・伊藤
韓国 パラオープン	韓国	8月18日～21日	加藤・原 山本	樫山・和田 川崎・太田	女子S金：樫山、銀：和田、銅：川崎 男子W銅：加藤・山本 女子W金：樫山・和田、銀：川崎・太田 混合W銅：加藤・樫山、山本・和田
タイ パラオープン	タイ	8月24日～27日	原・吉田	樫山・和田 太田	男子S銀：原 女子S銅：樫山
ジャパン パラオープン	日本（東京）	8月30日～9月2日	竹守・原 加藤・吉田 山本	伊藤・樫山 山口・美遠 川崎・太田	男子S銅：竹守、銅：原 女子S金：樫山、銀：山口、銅：美遠 男子W銀：竹守・山本 女子W金：長谷山・山口、銀：美遠・太田 混合W金：竹守・樫山、銅：加藤・伊藤
フィンランド パラオープン	フィンランド	9月29日～10月1日		伊藤	女子S：第4位 混合W銀：スペイン・伊藤
パラIDジャパン・年代別 オープン卓球大会2023	日本（新発田）	9月30日～10月1日	63名参加	22名参加	男子優勝：村上（10代）・森（20代）・高橋（30代以上） 女子優勝：清水（10代）・馬渡（20代）・熊田（30代以上）
アジアパラ競技大会	中国（杭州）	10月7日～16日	竹守・浅野 加藤	古川・和田 伊藤	男子S銀：竹守 女子S金：和田、銅：古川 男子W銀：竹守・加藤 女子W銀：伊藤・古川 混合W銅：浅野・古川 ★和田 パラリンピック出場権獲得



# 2023年度活動実績（国内外試合・強化合宿・普及活動）

大会名	開催国	大会期間	男子派遣選手	女子派遣選手	主な結果
SQYフレンチ パラオープン	フランス	11月9日～11月12日	竹守・浅野 加藤・原	古川・伊藤 山口・美遠	男子S銀：竹守 女子S金：古川、銀：山口 男子W銀：竹守・加藤 銅：浅野・原 女子W銀銅：伊藤・古川 混合W金：浅野・古川 銀：竹守・美遠 銅：加藤・伊藤
パラID全日本卓球 選手権大会2023	日本（横浜）	12月2日～3日	120名参加	41名参加	男子優勝：竹守 女子優勝：馬渡
エジプト パラオープン	エジプト	2024年1月24日～27日	原・久保	古川・伊藤 樫山	男子S銅：原 女子S金：古川、銅：樫山 混合W銅：原・伊藤 ※男女W1位の原、伊藤（共に国際ペア）は参加数少で表彰なし
ブラジル パラオープン	ブラジル	2月1日～4日	竹守・原	伊藤・美遠	男子S銅：竹守、銅：原 女子S銀：伊藤 混合W銀：竹守・美遠、銅：原・伊藤
リニャーノマスターズパラオープン	イタリア	3月6日～9日	竹守・加藤	古川・山口	女子S金：古川、銅：山口
コスタブラバスペインパラオープン	スペイン	3月11日～14日	竹守	古川・伊藤	女子S金：古川
ポーランド パラオープン	ポーランド	3月26日～29日	竹守・加藤	伊藤・山口	男子S銅：竹守 女子S金：山口

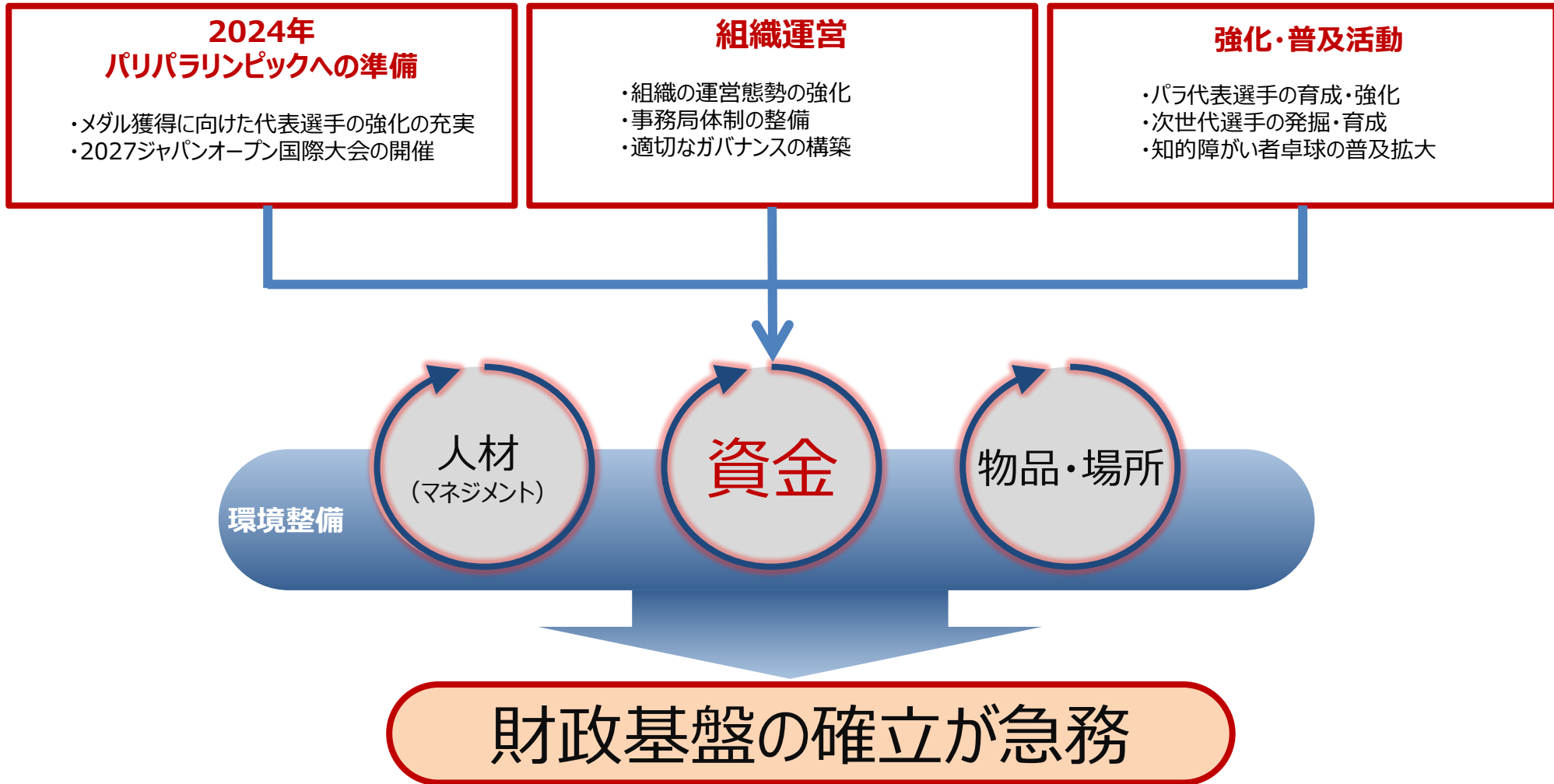
## 強化合宿

名称	合宿地	期間
強化選手合宿	岐阜県福祉友愛アリーナ	4月8日～10日
スロベニア大会合宿	味の素ナショナルトレーニングセンター	4月21日～24日
Virtus GG合宿	味の素ナショナルトレーニングセンター	5月19日～21日
ジャパンオープン合宿	味の素ナショナルトレーニングセンター	8月11日～13日

名称	合宿地	期間
アジアパラ合宿	味の素ナショナルトレーニングセンター	10月6日～9日
フランス大会合宿	味の素ナショナルトレーニングセンター	11月18日～20日
第4回次世代合宿	味の素ナショナルトレーニングセンター	1月13日～15日
第5回NT合宿	味の素ナショナルトレーニングセンター	2月22日～25日

## 普及活動

名称	開催地	期間
第1回体験会	福島・南相馬市スポーツセンター	10月28日
第2回体験会	香川・香川県立香川中部支援学校	2024年2月17日



# 2024マーケティングプログラム

契約種	協賛金/年	内容
契約①	¥100,000	○ホームページに企業のバナー・リンクの貼り付け。○全国3大会プログラムに企業広告掲載(カラー1/2P) ○全国2大会スタッフポロシャツ又はジャンパーに企業ロゴ掲載
契約②	¥300,000	○ホームページに企業のバナー・リンクの貼り付け。○全国3大会プログラムに企業広告掲載(カラー1P) ○全国2大会スタッフポロシャツ又はジャンパーに企業ロゴ掲載
契約③	¥500,000	○ホームページに企業のバナー・リンクの貼り付け。○全国3大会プログラムに企業広告掲載(カラー1P) ○全国2大会スタッフポロシャツ又はジャンパーに企業ロゴ掲載 ○呼称権・集団肖像権・当連盟のロゴの使用
契約④	¥1,000,000	契約③に1項目追加 ○日本選手団公式ジャージに企業ロゴ掲載と競技用公式ユニホーム肩(片側)・シューズ(片側)に企業ロゴ掲載
契約⑤	¥2,000,000	契約③に1項目追加 ○日本選手団公式ジャージに企業ロゴ掲載と競技用公式ユニホーム胸部への企業ロゴ記載
契約⑥	¥3,000,000	契約⑤に1項目追加 ○当連盟3全国大会のうち、1大会にメインスポンサーとして契約(冠大会) (6月全国チャンピオンシップ大会、9月全国年代別大会、12月全日本選手権大会)

※1…広告の掲載箇所に関しては、スポンサー金額に応じて当連盟にて決定させていただきます。

※2…公式ユニフォームの広告掲載箇所は限りがあるため、スポンサー金額や優先度に応じて当連盟にて決定させていただきます。

## 【日本代表選手公式ユニフォーム ロゴ位置】

### <シューズ>



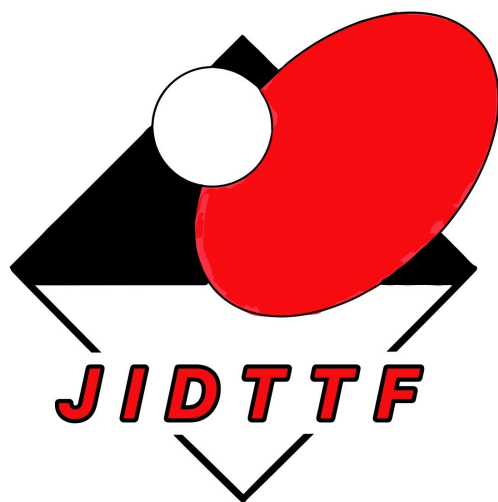
### <ジャージ>



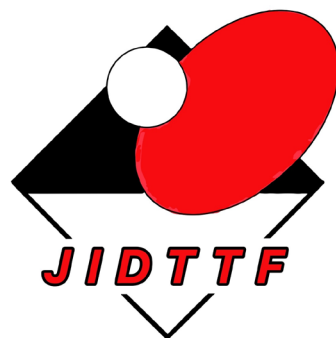
### <ゲームウェア>



## 団体概要



団体名	一般社団法人日本知的障がい者卓球連盟
所在地	(東京事務局) 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 4階 ☎03-6229-5428  (横浜事務局) ※2024年6月30日まで 神奈川県横浜市中区不老町 2-1 1-5 栄ビル 2階 ☎045-212-2727
代表	会長 武居 和子
設立	1999年3月15日
Webサイト	ホームページ <a href="https://jttf-fid.org/">https://jttf-fid.org/</a> X (旧ツイッター) <a href="https://twitter.com/fidtt1111">https://twitter.com/fidtt1111</a>



【お問い合わせ】

一般社団法人日本知的障がい者卓球連盟 事務局 (担当: 野村)

TEL・FAX 03-6229-5428 E-mail [idtht.info@gmail.com](mailto:idtht.info@gmail.com)